

報道発表資料の配付日時 1月10日(水) 15時00分

発表項目 (行事名)	「ほっかいどう企業の森林づくり」 新たな森づくり実証実験への協力について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>北海道では、環境保全に関心が高く CSR 活動等として森林づくり活動の実施を希望する企業・団体と、道内市町村等の森林所有者とのマッチングを行い、道民と企業等が連携して森林づくりを行う「ほっかいどう企業の森林づくり」を推進しています。</p> <p>この度、株式会社ソマノベース（和歌山県田辺市）が実施する植樹用苗木を育てる観葉植物「戻り苗」を用いた「MODRINAE HOKKAIDO（戻り苗北海道）」の実証実験に、道内の企業、林業事業者、工房の皆様とともに協力することとしました。</p> <p><b>(1) MODRINAE HOKKAIDO 概要</b>（詳細は別紙をご参照ください）</p> <p>実証実験に参画した企業は、道産トドマツで製作したラダーシェルフに、24本の苗木をセットし、オフィスで育てていただきます。育てる苗木は、北海道に自生するイタヤカエデやミズナラなど6種類で、実証実験終了後、北海道内の森林に植樹を行う予定です。</p> <p><b>(2) 実証実験期間</b></p> <p>令和5年(2023年)11月～令和6年(2024年)10月(予定)</p> <p><b>(3) 取組企業</b></p> <p>JT北海道支社(※)、北海道電力株式会社(※)、北海道コカ・コーラボトリング株式会社、エスビー食品株式会社、札幌テレビ放送株式会社、株式会社北海道アルバイト情報社〔敬称略・順不同〕</p> <p>※「ほっかいどう企業の森林づくり」協定締結企業</p>		
参考	<p>■「MODRINAE HOKKAIDO」特設サイト（(株)ソマノベースウェブサイト内） <a href="https://somanobase.com/modrinae-hokkaido">https://somanobase.com/modrinae-hokkaido</a></p> <p>■「ほっかいどう企業の森林づくり」特設サイト <a href="https://www.hokkaido-morizukuri.jp/">https://www.hokkaido-morizukuri.jp/</a></p>		

報道(取材)に当たってのお願い	北海道と企業・団体が連携した新たな森林づくりの取組みであり、広く企業等の皆様に知っていただきたいことから、積極的な取材・報道をお願いいたします。		
他のクラブとの関係	同時配付	(場所)	
	同時レク		

担当 (連絡先)	水産林務部森林環境局森林活用課 主幹 佐藤 ふみ子 TEL ダイヤルイン 011-204-5516 内線 28-806 公用スマホ 011-585-6103 内線 30951		
-------------	---	--	--

## 「ほっかいどう企業の森林づくり」

北海道での産官連携の新たな森づくり実証実験への協力について



### ■連携協力の背景

北海道では、環境保全に関心が高く CSR 活動等として森林づくり活動の実施を希望する企業・団体と、道内市町村等の森林所有者とのマッチングを行い、道民と企業等が連携して森林づくりを行う「ほっかいどう企業の森林づくり」を推進しています。



「ゼロカーボン北海道」の実現に向けて、多くの企業・団体の皆様に「ほっかいどう企業の森林づくり」に取り組んでいただきたいと考えており、気軽に参加ができる「戻り苗」が入り口となり、多くの皆様に森林づくりに興味を持っていただくことで、道内の森林づくりがさらに広がっていくことを期待し、この度、株式会社ソマノベースが実施する実証実験に協力することとしました。

#### ▶企業概要

会社名：株式会社ソマノベース

設立：2021年5月25日

代表取締役社長：奥川 季花

所在地：和歌山県田辺市新屋敷町 80-6 東海ビル 2 階

コーポレートサイト：<https://somanobase.com/>

## 「土砂災害の人的被害をゼロにする」

ソマノベースの始まりは、2011年紀伊半島大水害による被災体験から。山づくりから、防災まで「土砂災害による人的被害」に繋がるすべての問題を解決する。災害を一面から解決するのではなく、まち全体を俯瞰して観察し、解決に繋がる取組を行う。

代表 奥川が経験した「紀伊半島大水害」



現在も日本中にリスクがあり、国の対策にも限界がある。



市町村の92%が、土砂災害危険区域保有

R2年の水害被害額は6,600億円。国家予算で賄えるのは1,443億円(R3)。

## 「林業を通して災害リスクの低い山を増やす」

「コストがかかる」「利益に繋がらない」「方法がわからない」等の理由により、災害リスクの低い山づくりが進まない現状があります。このような現状の背景にある課題に取り組み、適切な山づくりができる環境を整えることで、土砂災害リスクの低い山林を日本中に増やします。



## MODRINAE HOKKAIDO 概要

「戻り苗」は植樹用の苗木を育てる観葉植物で、林業ベンチャーの株式会社ソマノベース（和歌山県田辺市）が提供するプロダクト「MODRINAE FOR BUSSINESS」により、全国35社以上の企業のオフィスで育てられています。

この度、北海道を拠点とした「戻り苗」の実施に向けて、実証実験を開始しました。

1年間オフィスで苗木を育て、育った苗木を北海道内に植樹いただくものです。

### 戻り苗 北海道の循環のカタチ

このプロジェクトが目指すのは、“誰もが森づくりに関われる”未来。



現在、一年後の森づくりを見据えて、北海道の企業・団体の皆さまと落葉広葉樹を育てています。

※実証実験中

北海道で導入いただく「戻り苗」は「MODRINAE HOKKAIDO」という名称で、苗木・ラダーシェルフともに北海道産です。苗木は北海道の自然植生に合ったイタヤカエデやミズナラなど6種類、ラダーシェルフには北海道産のトドマツを採用しています。苗木は有限会社大坂林業（中川郡幕別町）、シェルフは合同会社フィールドギフト（上川郡当麻町）が協力しています。

**サービスの構成**

サービスの全てが、道内で循環し、持続的に北海道の自然環境を支えていける仕組みを目指しています。



北海道の自然植生に合った苗木を選定



道産トドマツの材木をプロダクトに使用



苗木の植林先は北海道内の山から選定



**大坂林業**  
OSAKA NURSERY



**FIELD GIFT**

幕別町、大樹町、栗山町、各社の社有林。  
「ほっかいどう企業の森林づくり」  
参加企業の場合は、その対象の山林等

## ■実証実験の開始

令和5年（2023年）11月から令和6年（2024年）10月までの1年間、オフィスで苗木を育て、育った苗木を北海道内に植樹する企業・団体を募集し、6社様にご協力いただいています。

実証実験に参加中のJT北海道支社様、北海道電力株式会社様は「ほっかいどう企業の森林づくり」参画企業で、育った苗木は、JT北海道支社は積丹町、北海道電力株式会社は当別町（道民の森）に植樹する予定です。

**MODRINAE HOKKAIDO**  
戻り苗 北海道



北海道



ソマビール

制作パートナー



FIELD GIFT



OSAKA NURSERY

導入企業様



Coca-Cola



JT



ほくてん



STV



HAJ  
Hokkaido Arbeit Johosha



S&B  
エスビー食品株式会社

## ■導入企業様からのコメントなど

実証実験に取り組まれている各社様や関係者のコメントは、株式会社ソマノベースのプレスリリースからご覧いただけます。

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000013.000092635.html>

オフィスでの苗木の育成は、社内外に向けた森林整備による森林吸収源対策や SDGs の取組発信ツールとして、また、オフィスでの社員コミュニケーションツールなどとしても活用いただけます。

本取組みにご興味をお持ちいただけましたら、お気軽にお問合せください。  
植樹候補地を検討可能な自治体様からのご連絡もお待ちしております。